

Mar.

2015

People, Cinema, Stage,
Takarazuka, Art, Craft,
Book, Comic, NewOpen

ÉCOLE de FUJINGAHO

あなたの好奇心と知性を磨く専門学校「エコール・ド・婦人画報」。各界著名人が講師としてご登壇!

一 橋大学在学中に書いた『なんとなく、クリスタル』がベストセラーになり、一躍スター文化人に。長野県知事や国会議員を務めたあと、2年前の総選挙で敗退。時間の余裕ができたところで『33年後のなんとなく、クリスタル』を執筆。

前作同様、注釈も充実し、小説としてだけでなく、グルメ本、恋愛指南書、政治活動レポート、注釈で答え合わせするクイズなど、何通りもの読み方ができる大作です。
「文芸書というだけでなく、人文科学とか社会科学、マーケティング本

この人の
仕事

『33年後のなんとなく、クリスタル』
(河出書房新社 1,600円)

高度消費社会と少子高齢化を予見した小説『なんとなく、クリスタル』から33年。当時と同じ主人公たちの再会や会話を通じて、33年間で変わったもの変わらないものを描き出す。70ページを超える膨大な注釈はさまざまな分野で資料価値をもつデータとしても評価される。



作家

田中康夫さん

辛酸なめ子この人を深掘り!

26

Profile たなかやすお●1956年東京生まれ。'80年、『なんとなく、クリスタル』で「文藝賞」を受賞し文壇デビュー。2000年から6年間、長野県知事。2012年まで衆参両議員。著書に『昔みたい』『たまたなく、アーベイン』『神戸震災日記』『憂国呆談』など。<http://www.nippon-dream.com/>

映画

を旅する

秦 早穂子

新作映画と
DVD

大きなショックを受けると、人は記憶を失う。チャン・イーモウ、久しぶりの監督作『妻への家路』は、1957年から始まった反右派闘争、続く'66年から'76年までの文化大革命の時代を背景に、あるインテリ一家の歴史を描く。チャン・イーモウ自身が文化大革命で強制労働をさせられた体験もあり、この時代の記憶は、彼にとって大きなトラ

新作映画

『妻への家路』

3月、TOHOシネマズ シャンテほか全国順次公開

ひたすらに信じる心、待つ心。
その純真さに触れたとき、人間は……



『初恋のきた道』

1999年
1,886円
(発売・販売元:
ソニー・ピクチャーズ
エンタテインメント)

DVD



大学教授であった夫ルー・イエンスー(チェン・ダオミン)は、娘タンタン(チャン・ホエウエン)が3歳の時に捕まってしまった。何が彼に起きたかは一切、省略している。説明しなくとも、中国の人にはよく分かるのであろう。20年後、夫は無事に帰ってきたのに、妻は夫を記憶せず、それぞれどこか、出て行つてと叫び出す。そのくせ、月の5日には帰ってくるという彼の言葉だけは記憶していて、5日は駅に行つて夫を探すのである。その深層心理は複雑だ。かつて一度は逃亡して来た夫を匿うのを拒否して、アパートの扉を開けなかったことがある。一方、娘はバレエの主役欲しさに父を密告し、それが原因で母と娘は不仲になってしまった。夫は妻宛てに書いた数々の手紙を妻のために読み、自分の名前をプラカードにして、自分で支え持ち、妻と今日も夫の帰り、いや自分の帰りを待つ。夫だって、喪失した

自分を探している。これを演じるチェン・ダオミンが実にいい。妻は夫を待ち、夫は妻の心の帰りを待つ。最後は深い象徴的場面であり、たんなるお涙ちょうだいではない。
今月のDVDはチャン・イーモウが、1999年に監督した『初恋のきた道』を紹介したい。公開当時は日本中の男の人たちの涙を誘い、あまりの熱狂ぶりに驚いたほどだ。ひとりの青年が教師として、小さな村にやって来る。ある少女が、彼への思いを料理に託すのだが、ここにも、時代の波が押し寄せる。可憐な少女にチャン・ツイイーが扮して、デビューを飾った。
待つ心、信じる心。それをやみくもに、心のよりどころとしてきた時代から、心ならずも、こうした精神さえ崩れていく時代を体験したからこそ、この主題が私たちの胸に迫るのであろうか？

Profile

はたさほこ ●1931年東京都生まれ。映画評論家、エッセイスト。'58年フランスに渡り『勝手にしやがれ』『太陽がいつぱい』などの映画輸入に携わった。現在も映画紹介に努め、執筆活動を行う。著書に『影の部分』など。

映画ライター・富永由紀さんおすすめの映画

『フォックスキャッチャー』

2月14日より新宿ピカデリーほか全国順次公開

'96年に財閥御曹司が起こしたレスリング米五輪選手殺害事件を映画化。富と名声と孤独を鍵に、互いに欠乏するものを求め合った富豪とメダリスト兄弟の悲劇を描く。カンヌ国際映画祭監督賞受賞作。



Photo by Scott Garfield © MMXIV FAIR HILL LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

『リトル・フォレスト 冬・春』

2月14日より全国順次公開

都会から故郷・岩手の集落に戻り、自給自足生活を送る女性の四季を描く4部作の後編。橋本愛が、自然に身を委ねる暮らしを通して成長するヒロインを演じる。旬の素材を使った料理もふんだんに登場。



©「リトル・フォレスト」製作委員会

『フェイス・オブ・ラブ』

2月7日より有楽町スバル座ほか全国順次公開

5年前に事故死した夫と瓜二つの男性と出会い、心が揺れる女性の物語。アネット・ベニングとエド・ハリス、隣人役の故ロビン・ウィリアムズの名演で、タイトルの意味を伝える結末まで目が離せない。



©2014 LOOK OF LOVE,LLC